

輸血患者、HIV感染

日赤検査すり抜け

献血追跡調査で確認

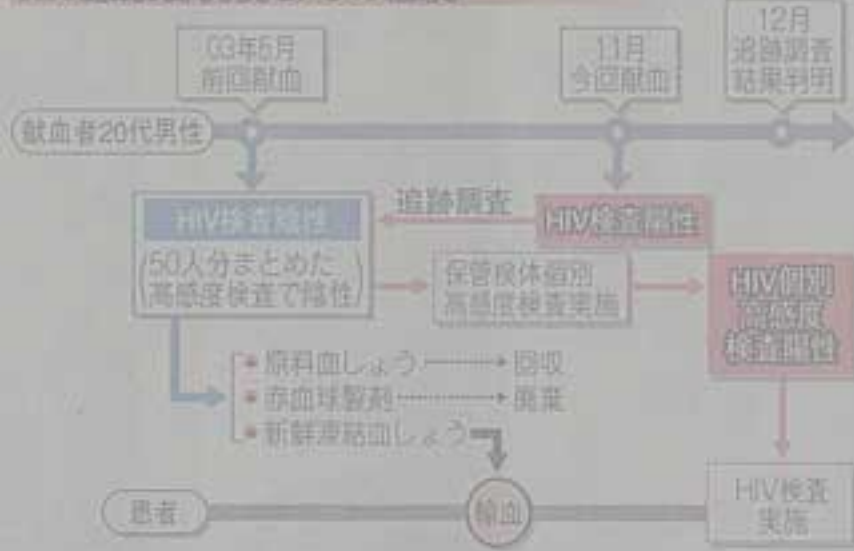
エイズウイルス(HIV)感染者の血液が献血時の高感度検査をすり抜けて輸血に使われ、輸血を受けた患者がHIVに感染した可能性があることが二十九日、日赤(東京都港区)の調査で分かった。一九九九年の高感度検査の導入以来、HIV汚染血液のすり抜けが確認されたのは二例目だが、実際に輸血に使われたのは初めて。――関連④面

厚生労働省は同日、血 緊急に開き、技術的な安夜事業部会運営委員を 全業に加え、感染者によ

る検査目的の献血を防ぐ 徹底することを決めた。献血者は二十代の男性

た。このときの血液は出た。HIV感染が分かった。このときの血液は出た。HIV感染が分かった。

HIV感染者判明までの経緯



東京新聞

中日新聞
東京都港区港南
〒108-8010 電

料理のかくし味でも大好評!

http://www.g

読者
業務開始は五日か
は常時受け付けて
03(3471)